

原っ子だより

本原小学校 学校だより

令和元年 6月 12日

NO. 3

校長講話より

5月の校長講話では、「実践したい3つのこと」についてお話がありました。
以下は、お話の内容です。

新学期がスタートして、約1ヶ月が過ぎました。どの学年の皆さんも、友達や先生と一緒に、たくさんのことを学んできていると思います。

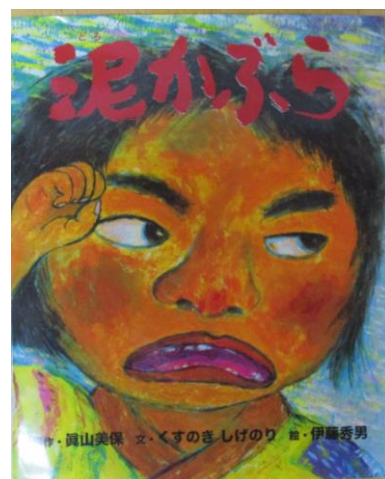
さて、今日は、「実践したい3つのこと」についてのお話をします。以前、小学生新聞に「どんな人と友達になりたいか」という、アンケートの結果が載っていました。皆さんは、どんな人と友達になりたいですか？そのアンケートによると、ベスト3は「明るい人」「優しい人」「相談ののってくれる人」でした。そんな人がクラスにいたらいいな、とたくさんの方が思っていることがわかります。

さて、友達ができるにはどうしたらよいかを考えさせてくれる物語があります。それは、劇作家の眞山美保さん原作の『泥かぶら』です。その昔、ある村に「泥かぶら」と呼ばれる一人の少女がいました。一人ぼっちの「泥かぶら」は、みにくいから、きたないからとみんなからばかにされ、人をうらんで乱暴になるばかりでした。

そんな「泥かぶら」に、旅の老人が教えてくれたのです。「三つのことを守れば、きっと美しくなれる」と。その三つとは、「自分の顔を恥ずかしいと思わないこと」「どんなときもにっこり笑うこと」「人の身になって思うこと」。少女はその教えを実践することで、友達ができ、人のために働くことで感謝されるようになり、気持ちの優しい人気者に成長していきました。やがて恐ろしい人買いの心も動かすことになるのです。

この物語のなかの三つの教え、「自分の顔を恥ずかしいと思わないこと」は、「どうせ自分なんて」と思わず明るい気持ちで過ごすということです。「どんなときもにっこりと笑うこと」は、周りの人に対して優しく温かい気持ちで接するということです。そして、「人の身になって思うこと」は相手が困っているときに親身になって考えるということです。実はこの三つは、「友達になりたい人」のアンケート結果とほぼ同じであることがわかります。

新学期、ぜひこの三つの教えを実践してみませんか。きっとすてきな1年間のスタートをきるができると思います。



原っに見守り隊と応援団紹介式

登下校の安全に関して支援して下さっている見守り隊の皆様と、授業支援をして下さっている応援団の皆様に来校していただき、紹介式を行いました。子どもたちからは、お礼の手紙を送り、全校合唱と金管バンドの演奏をして、感謝の気持ちを表現しました。

また、懇談会では、本原小の子どもたちの「自転車の乗り方について」「挨拶について」「子どもたちの遊びについて」など様々なご意見をいただくことができました。今後の教育活動に活かしていきたいと思えます。



PTA作業 ありがとうございます。

6月1日の土曜日PTA作業が行われました。学校中の窓ふきやトイレ掃除、校庭の側溝やプールサイド・更衣室などの掃除、ベルマークの仕分けなど、土曜日の朝、6:30~8:00という時間ですが、多くの保護者の皆様方にお集まりいただきました。いつもなかなか自分たちで整備することのできない場所をきれいにしてくださいました。本当に感謝です。次の日の朝、子どもたちからは「トイレきれいになった」「窓がきれいになって気持ちいいね」といった声が聞こえました。本当にありがとうございました。



移動音楽教室

移動音楽教室がありました。「パーカッション“ウッズ”という団体の皆さんが来校され、子どもたちに楽しい演奏をしてくださいました。「道化師のギャロップ」「ノスタルジア」「楽器紹介」「アフリカンブルース」「アンダー・ザ・シー」「ジブリメドレー」「情熱大陸～ブラジル～エルクンバンチェロ」「ティコティコ」という順で演奏してくださいました。子どもたちは手拍子をしながら聞く場面もあり、すてきな時間を過ごすことができました。アンコールでは、「勇気100%」を演奏して下さり、ステージから降壇されました。しかし、子どもたちが再度「アンコール」のコールをしたら、もう1曲「剣の舞」を演奏してくださいました。大満足の移動音楽教室となりました。